

「船橋市 2030 年二酸化炭素削減目標 60%以上に設定」に関する陳情

〔願意〕

船橋市の 2030 年二酸化炭素削減計画を 60%以上に設定することを求めます。

〔理由〕

気温上昇は産業革命以後すでに 1.2℃を超えており、世界の死守すべき気温上昇 1.5℃へ向かって急上昇している。2030 年には世界全体で 2010 年比最低でも 45%以上の二酸化炭素削減をしなければならないといわれている。また、そのためには日本のような先進国は 167%以上の削減が必要ともいわれている。そんな中、日本政府は不十分ながら 2013 年比 46%削減を世界に約束している。

しかるに船橋市の目標は 26%のままでこれを大幅に上げる動きはない。船橋市民が生き続けるためにも世界が生き続けるためにも今すぐ大幅に目標値をあげることが必須である。

先進国の自治体として最低でも 60%、途上国との公平性を考慮すればさらにそれ以上の削減を 2030 年までに実現しなければならない。遅ければ遅いほど達成は極度に困難になり、破局へむかって転げ落ちてゆくだろう。船橋市は今すぐ、これを決議し、迅速に実行に移し、毎年 6 か月ごとに進捗を市民に報告し、60%はもちろんそれ以上の結果をだすべきである。

市独自の炭素税、ガソリン車の廃止、公共交通の充実、自転車の奨励、EV の

振興、100%再エネの新電力への誘導、太陽光発電産業の振興、再エネを核とした産業と共同体、地産地消かつ持続可能な市づくりを早急に目指してほしい。